

安心安全



時光 良造 議員

Q 災害後の状況と今後の計画は

A <町長>

国の災害査定を終え、設計審査等の手順を経て作業を進めている。

〔Q1〕 砂防ダム等の進捗は。

〔A1〕 緊急事業として砂防ダム5カ所、治山ダム8カ所予定し、順次地元等へ説明し、平成31年度末までに終える計画と伺っている。

〔Q2〕 河川の復旧状況は。

〔A2〕 県管理河川では二河川の護岸復旧工事が発注済みで、熊野川、三谷川についても順次発注予定と伺っている。町管理河川では、道路との兼用護岸を含む4河川が発注済み。

〔Q3〕 農地の土砂撤去についてはどうか。

〔A3〕 比較的被害の少ない箇所から農業者の意向を確認し進めている。

〔Q4〕 農地についても所有者が撤去した場合、事後償還できないか。

〔A4〕 現状は財政的に難しいが、課題等を整理していきたい。

〔Q5〕 防災重点ため池15カ所は、選定基準の見直しで増えると思うが。

〔A5〕 15カ所から120カ所程度になる見込みで、住民に広報等で周知する。

〔Q6〕 被害家屋の解体後の税の取り扱いはどうか。

〔A6〕 解体家屋に固定資産税はかからない。残った土地「被災住宅用地」は、引き続き住宅用地と見なし、2年間住宅用地の特例が適用される。



立花 慶三 議員

Q 警戒区域の避難路は

A <町長>

スムーズな避難行動のため、既存道路の拡幅や別ルート新設など、地区に見合った方法を検討する。

〔Q1〕 この度メディアを通じて避難路の整備が公表され、町としての懸念な取り組みに誠意を感じている。一方、これらの取り組みは関連地域の方にも詳細をお知らせしてほしい。

〔A1〕 大原ハイツ以外は、自治会や自主防災組織、土地所有者等と協議の整ったところから、可能な限り国費を活用して進めたい。具体的には、予算や土地提供者とのデリケートな問題もあり、今の時点での回答は控える。

〔Q2〕 今の答弁では「予算ありき」に聞かせる。本来、住民の安全を守ることに対し、自主防災組織を作ってもらってからのというは受け身

ではないか。具体的な箇所については新聞紙上で掲載されるのであれば、具体的に答えてもいいのでは。山すその地区においては、道幅の狭い危険な箇所がたくさんあるが、縦方向に逃げるよりも横方向への避難路が重要と思うが、そのような計画は。

〔A2〕 具体的には複数箇所、考えているがこの場所での回答は控える。横方向の避難路については確かに拡幅オンリーではない。横方向が適切か、技術的に可能かも検証していかねばならない。すべてが横方向に出来れば理想だが、調査を進めていく必要がある。



〔Q1〕 昨年の土砂災害発生時には全国から多くの支援物資が届いたが、全て被災者に提供されているのか。

〔A1〕 被災者に提供するとともに、なかには賞味期限が近いものもあり、廃棄処分したものと、町内施設イベントに提供したことがある。



〔Q2〕 町内10カ所の避難所全てに備蓄倉庫が設置されていないが。

〔A2〕 現在6カ所に分散して保管しているが、避難所となっている施設に備蓄物資を直接保管出来るよう調整する。

〔Q3〕 職員が災害対応や避難所運営に携わることにより、通常業務に遅れが生じ、町税の口座引き落としが2カ月分になり、周知不足のため、町民から多くの苦情を聞いているが。

〔A3〕 今回の経験を生かして、今後は事前に計画し、住民の周知にも怠りがないようにする。

〔Q4〕 職員は数年で異動するため、町内の特徴を熟知した防災の専門職員を育成することが必要だと考えるが。

〔A4〕 危機管理のプロである自衛官OBの採用を考えている。来年、もしくは再来年には専門職員を採用したい。



民法 正則 議員

Q 熊野交番の建て替え計画は

A <町長>

建て替えは来年度実施と伺っている。町は町全域を見据えた治安強化や町行政との連携の観点で踏まえるよう求めてきた。

〔Q1〕 役場前の町有地を県警が交番用地として使用するということが、どのような契約になるのか。また、現在の交番の跡地の使途は。

〔A1〕 関連条例等に基づき、30年以内の使用貸借契約を締結する予定である。跡地の使途は承知していない。

〔Q2〕 新しい交番は、相談に立ち寄る町民用の駐車場や相談室などが整備されるか。

〔A2〕 来客駐車場2台分と相談室が設けられ、警察官や交番相談員が相談に応じる。パトロール等で無人の場合は、窓口の電話機で警察との通話や緊急通報ができる体制がとられるものと理解している。

〔Q3〕 移転すれば初動対応が遅れるのではないかと、西部地域住民の不安に対する町の見解は。

〔A3〕 警察車両でのパトロールが大きな犯罪抑止力になることから、町全域でのパトロール強化を警察に要望する。町も青色防犯パトロールによる警戒、関係団体等との連携活動のほか、警察OBの巡回指導員による出前相談等を西部地域において実施するなど、町民の不安解消に努める。

〔Q4〕 新たな交番は県道に接するため、熊野らしい外観づくりがなされるか。

〔A4〕 意見を踏まえ、町の立場から可能な範囲内で努力してみたい。